

少数台数のリコール届出の公表について (令和3年1月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和3年1月は9件の届出がありましたので公表します。

1. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月8日	4872	車名：コマツ 型式：ZAF-M282K 他 通称名：FB20 他	8	平成30年4月12日～ 平成30年7月23日
不具合の部位等	バッテリー式フォーク・リフトのバッテリーにおいて、正極柱を支えるポールパッキンの材質が不適切なため、正極柱が異常腐食するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、正極柱が破断し、導通不良となり、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。			

2. 届出者：現代自動車ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月13日	外 3154	車名：ヒュンダイ 型式：ZBA-FE120 他 通称名：NEXO	11	平成31年4月1日～ 令和2年2月3日
不具合の部位等	制動装置において、IEBモジュールのプログラムが不適切なため、モーターモーション検知センサーが異常信号を発生し警告灯が点灯した場合に、フェールセーフが働かずにブレーキ制動補助が制限され、最悪の場合、制動距離が伸びるおそれがある。			

3. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月14日	外 3155	車名：BMW 型式：3DA-CW30 他 通称名：BMW X7 xDrive35d 他	28	令和2年1月10日～ 令和2年2月7日
不具合の部位等	統合ブレーキシステムの油圧回路制御ユニットにおいて、製造機器の設定が不適切なため、油圧ソレノイドバルブの先端がずれて製造されているものがある。そのため、正しい油圧回路を確立できず、ブレーキ警告灯が点灯するおそれがある。			

4. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月21日	4877	車名：ニッサン 型式：ZAA-ZE1 通称名：リーフ	31	令和2年10月19日～ 令和2年10月22日
不具合の部位等	助手席側フロントサイドメンバにおいて、製造設備不良により部品に亀裂が入ったものがある。このため、使用過程において亀裂が進展し、サイドメンバの強度が低くなり、最悪の場合、前方車両衝突の際に乗員空間を確保するための車体強度が足りず、乗員に危害を与えるおそれがある。			

5. 届出者：Groupe PSA Japan株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
1月21日	外 3158	車名：シトロエン 型式：3BA-B6HN05 他 通称名：C3 他	50	令和2年8月31日～ 令和2年9月14日
不具合の部位等	フロントサブフレームにおいて、製造前の材料の保管が不適切なため、製造時に亀裂が生じるものがある。そのため、車両の使用過程で当該サブフレームが破損し、最悪の場合、ロアアームが保持できずに走行安定性が損なわれるおそれがある。			

6. 届出者：三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月26日	4882	車名：ニチュ 他 型式：ZAF-288E 他 通称名：トリンカ 他	31	平成30年4月14日～ 平成30年9月5日
不具合の部位等	バッテリー式フォークリフトのバッテリーにおいて、正極側ポール部のポールパッキンに不純物が混入したものがあ。そのため、特定のポールと当該不純物の組み合わせにより腐食物が生成され、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、ポールが破断して車両へ電源が供給されず、走行できなくなるおそれがある。			

7. 届出者：株式会社豊田自動織機

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月28日	4884	車名：トヨタ 型式：ZAF-8FBL18 他 通称名：トヨタ ジェネオーB 他	89	平成30年4月4日～ 平成30年7月3日
不具合の部位等	電動式フォークリフトにおいて、バッテリー電極ポール部のパッキン製造時に特定の不純物が混入したものがあ。そのため、その不純物の影響で電極ポールが腐食し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、電極ポールが破断し、車両の電源が遮断され、走行できなくなるおそれがある。			

8. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
1月28日	外 3162	車名：メルセデス・ベンツ 型式：CAA-257361 他 通称名：メルセデスAMG CL S53 4M+ 他	11	令和2年3月17日～ 令和2年8月25日
不具合の部位等	エンジンのクランクケースにおいて、製造指示が不適切なため、微細な巣穴が生じているものがあ。そのため、エンジンオイルが漏れ、オイルレベル低下を示す警告灯が点灯するおそれがある。			

9. 届出者：いすゞ車体株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月29日	4883	車名：いすゞ 型式：QPG-EXR77BG 他 通称名：ギガ	22	平成29年1月10日～ 令和2年8月20日
不具合の部位等	大型トラクタの燃料タンクを移設した車両において、燃料タンクブラケットを固定するサポートブラケットの溶接工法が不適切なため、当該ブラケットに亀裂が入ることがある。そのため、そのまま使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、燃料タンクが傾き、脱落するおそれがある。			

【参考】

●令和3年1月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	1 6 (-3)	1 1 (-5)	5 (+2)
輸入車	1 2 (+1)	8 (±0)	4 (+1)
計	2 8 (-2)	1 9 (-5)	9 (+3)

※ () 内は、対前年同月比

●令和2年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-13)	19(-4)	36(-17)	210,060 (-4,684,165)	116,294 (+39,060)	326,354 (-4,645,105)
5	11(±0)	11(-7)	22 (-7)	80,875 (-14,733)	13,927 (-16,491)	94,802 (-31,224)
6	16(-4)	11(-8)	27(-12)	1,991,824 (+583,181)	9,538 (-54,219)	2,001,362 (+528,962)
7	20(+5)	15(±0)	35(+5)	183,257 (+39,709)	70,798 (+46,117)	254,055 (+85,826)
8	11(-2)	18(+5)	29(+3)	144,094 (-77,674)	37,887 (-145,375)	181,981 (-223,049)
9	8 (-7)	12(-14)	20(-21)	553,638 (-148,391)	52,731 (-47,502)	606,369 (-195,893)
10	26 (-1)	20(+10)	46(+9)	805,055 (+431,272)	18,290 (-17,122)	823,345 (+414,150)
11	15(-6)	15(-6)	30(-12)	1,217,297 (+546,896)	12,541 (-28,046)	1,229,838 (+518,850)
12	18(+5)	19(+14)	37(+19)	100,479 (+48,923)	23,422 (+20,803)	123,901 (+69,726)
1	16(-3)	12(+1)	28(-2)	707,194 (+45,870)	8,957 (-9,545)	716,151 (+36,325)
小計	158 (-26)	152 (-9)	310 (-35)	5,993,773 (-3,229,112)	364,385 (-212,320)	6,358,158 (-3,441,432)

※ () 内は、対前年同月比